

会員各位

協会だよりー297(9月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

トピックス：

● **第234回月例会(一泊研修会)の開催につきまして(検討中)**

見学施設：大阪府内（堺市西区築港新町のエコタウン会社と交渉中です）

開催月日：一案：10月27日(金)～28日(土)，二案：11月10日(金)～11日(土)

備考：8月31日現在、見学先及び開催月日も、まだ決まっていません。



北海道庁・旧庁舎（赤煉瓦建築物）と前庭

- 一. 協会よりのお知らせ
- 【実施済事項】
- 【予定事項】
- 二. 新会員の紹介
- 二. 会員会社よりの連絡
- 三. 事務局より（九月度の予定）
- 四. 【雑学】荒川上流／島山重忠館跡と鉢形城址へ

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

① **協会だよりー296（8月号）**をメール&郵便で送信（8/1）

② **第2回運営委員会**

日 時：平成29年8月9日（水）16：00～17：00

場 所：堺化学工業(株)東京支店（友泉岩本町ビル）

議 題：234回月例会（一泊研修会）の選考等

出 席：運営委員及び234の幹事会社、専務理事

[予定事項]

① 第233回月例会(見学会)の開催・スーパーエコタウンの見学 (バス利用)

開催日：平成29年9月7日(木)9:30~15:15 (見学) 17:00~ (懇親)

バス出発場所：東京国際フォーラム前9:30 (出発) 道路向いのビルは新東京ビル

見学先：1. 中間貯蔵・環境安全事業(株) (中央防波堤内側) 10:30~

昼食：「テレコムセンタービル内」21F展望レストランで12:00~

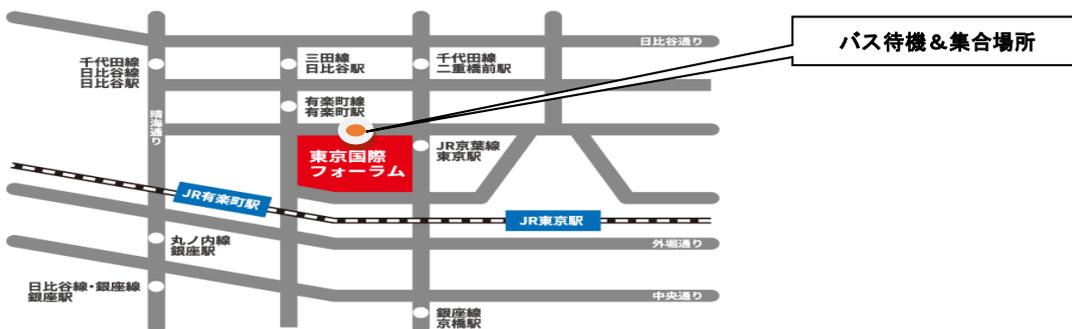
2. ㈱リーテム (城南島地区) 13:10~

3. 処分場見学 (中防合同庁舎10階回廊より) 14:45~

4. 浜離宮恩賜庭園 15:45~16:45

懇親会：新橋亭新橋新館にて 17:00~19:00

見学申し込み者数：見学(32名)・懇親(33名)となっています。



② 第3回運営委員会

日時：平成29年9月21日(木) 15:30~17:00

場所：新橋駅前ビル1号館6階 (BISTATION カンファレンスルーム Bにて)

議題：234回月例会 (一泊研修会) の準備・その他

出席：運営委員及び第234回月例会の幹事会社、専務理事

③ 第234回月例会(一泊研修会)の開催につきまして(検討中)

見学施設：大阪府内 (堺市西区築港新町のエコタウン会社と交渉中です)

開催月日：一案：10月27日(金)~28日(土), 二案：11月10日(金)~11日(土)

備考：8月31日現在、見学先及び開催月日も、まだ決まっていません。

2. 新会員の紹介

● 三和油化工業株式会社 (9/1より賛助会員入会)

本社：〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町35番地

代表：代表取締役社長 柳 均 殿

資本金：100,000千円

従業員数：約200名

協会担当者：高塚敏昭 さん (営業部事業開発室 室長)

3. 会員会社よりの連絡

【本社の移転】

● 株式会社メタルドゥ (7/1より)

〒556-0017 大阪市浪速区湊町2-2-45 オンテックス難波ビル11階
TEL06-6635-5166

片山こころさんより連絡がありました (8/10)

【代表者 (社長) の交代】

- ジョンソン・マッセイ・ジャパン合同会社 (8月吉日)
8月1日、木村 宗雄殿が社長を退任、会長に就任いたしました。小森 充殿が後任の社長に就任されました。

◎協会の所在地 BISTATION (新橋駅前ビル1号館601) の入口右のメンバーズリストに協会名称が掲載されてました。



4. 事務局より (9月度の予定) 9月出勤予定: 10日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	1	2
×	×	○	×	○	× (民権同窓)	×
3	4	5	6	7	8	9
×	○	○	× 歴歩会	第233回 月例会	× (浜松湖北) 歴歩会	× 民権同窓会
10	11	12	13	14	15	16
× (自主防)	○	○	× (cook)	× (鬼怒川♩) 大学クラブ同窓会		×
17	18	19	20	21	22	23
×	敬老の日 ×	○	○	第三回 運営委員会	×	秋分の日 × (防災訓練)
24	25	26	27	28	29	30
× (自主防)	×	○	×	○	× (朝霞PG)	×

【雑学】 荒川上流／畠山重忠館跡と鉢形城址へ

7月7日、丁度七夕の日であるが、歴歩会バスの旅で埼玉県は深谷市・寄居町を訪ねた。

今回は当地の城址や寺社を訪問して中世の鎌倉期や戦国時代の関東・武蔵(現・埼玉県内)の合戦や争いを改めて学ぶ旅となった。訪問したコースは以下のとおりである。

町田発～相模原・愛川 IC (圏央道・関越道) 花園 IC～畠山重忠館跡…満福寺…井椋神社⇒鉢形城址公園・歴史館⇒かんぼの宿寄居(昼食)⇒善導寺⇒…正龍寺…⇒蓮光寺⇒道の駅はなぞの～花園 IC (関越道・圏央道) 相模原・愛川 IC～町田着

まずは歴歩会の案内文に Y さんが纏めた文章が、今回旅の全体を端的・明解に表現しているのを紹介する。

今回は埼玉県を貫いている荒川の上流へ。関越道・花園 IC を降りたら先ず東へ。鎌倉武士の鑑とも呼ばれる畠山重忠の館跡は荒川の畔(深谷市)。重忠の墓もあり、一の谷合戦で馬を背負った重忠の銅像が聳えます。次はさらに荒川を遡り、寄居の鉢形城址へ。この城は荒川に面した断崖上に築かれた天然の要害。文明 8 年 (1476)、関東管領山内上杉家の家宰になれなかったことを恨んだ長尾景春が反乱の拠点として築き太田道灌がこれを攻め落として以来、幾多の戦乱をかくぐり、武田信玄や上杉謙信の攻撃にも落ちず、豊臣秀吉の小田原攻め (1590) の時の鉢形城主は北条氏康の三男氏邦。前田利家・上杉景勝・真田昌幸ら 3 万 5 千の軍に囲まれ、一ヶ月の攻防の末開城しました。今は広大な公園ですが国指定の史跡です。外曲輪には歴史館も建ち、付近には歴代城主ゆかりの寺社も多数。荒川沿いに中世の武蔵国の史跡を巡り、時代を体感しましょう。

花園 IC を降りたバスは秩父街道(140号)を熊谷方面へ進み、重忠橋を渡って荒川を越え畠山重忠公史跡公園へ到着。

《畠山重忠公史跡公園》 深谷市畠山 (旧・大里郡川本町大字畠山)

公園には一の谷合戦のとき馬を背負って谷を降りたという逸話から、勇猛な重忠公の銅像 (見方によっては馬に襲われている重忠公) が建立されている。



深谷市教育委員会の説明板記載文を参考に要約すると。

鎌倉時代の関東武士を代表する武将である畠山重忠公は長寛二年（1164）秩父庄司重能の二男として、現在のこの地の畠山館に生まれ幼名を氏王丸といい、後に畠山庄司次郎重忠となった。

剛勇にして文武両道にすぐれ、源頼朝に仕えて礼節の誉れ高く県北一帯の支配のみならず、伊勢国沼田御厨（三重県）奥州葛岡（岩手県）の地頭職を兼ね、鎌倉武士の鑑として尊敬されたが、頼朝亡きあと北条氏に諮られて、元久二年（1205）6月22日に二俣川（現・神奈川県横浜市旭区）にて一族と共に討たれた。時に重忠四十二歳、子重秀は二十三歳であった。

畠山重忠公史跡公園より北へ600m程のところに満福寺が有る。当初徒歩で移動する予定で有ったが、当日は思いのほかの晴天猛暑となりバスで移動する。

《満福寺》深谷市畠山…畠山重忠の菩提寺



白田山観音院満福寺と言い真言宗智山派の寺院。平安時代の開基で、畠山重忠が寿永年間（1182～1184）に再興し、菩提寺としたと伝えられている。現在の建物は江戸時代以降のものである。観音堂には畠山重忠等身大の千手観音立像があり、境内には重忠廟の石碑などがある。

満福寺の直ぐ北にある井椋神社へは寺の裏口より出て拝観する。

《井椋神社》深谷市畠山



井椋神社は、畠山氏の先祖である将恒から武基、武綱、重綱、重弘、重能の代に至る間、秩父吉田郷領主として井椋五所宮を敬ってきた。畠山氏が秩父からこの地に進出してきた際に、現秩父市下吉田にある椋神社（式内社）を勧請してきた神社と伝えられている。椋神社は代々秩父平氏の守護神として崇敬されており、当井椋神社も畠山氏の守護神だったと推測される。



神社の裏手は荒川になり、神社の隣には「鶯の瀬」の碑が建立されている。「重忠が郎党の榛沢成清の館(現深谷市後榛沢)へ行った帰り豪雨となり、川が増水して荒川を渡れず困っていたところ、一羽の鶯が飛んできて美しい鳴き声で鳴きながら浅瀬を教えてく

れたため無事に渡ることが出来たと伝えられている。

《鉢形城址公園と歴史館》大里郡寄居町鉢形

歴史館にて、長尾景春が山内上杉家に反乱し鉢形城を築城した時代から藤田家が後北条の北条氏邦を娘大福の養子に迎えた時代、豊臣秀吉による落城などの歴史を勉強した後、お二人のボランティアガイドさん同行で二班に別れて小一時間の城址内フィールドワークとなる。階段道で沢を下り深沢川を渡りまた上る。今でも清流が流れる深沢川が内堀であったようだ。平原のような二の曲輪、三の曲輪を通過して復元四脚門へと至る。



断崖絶壁上に築城されていたため、荒川を見下ろす絶景の地であろうが、現在は樹木が遮り、寄居の市街地は見通せるものの荒川の川面(玉淀)が見えにくいのが残念である。国指定史跡の為、観光用に樹木の伐採も不可なのであるだろうか。



遊歩道を通り、田山花袋の歌碑が建立されている丘に達する。ここは本曲輪があった場所とされている。

田山花袋が、家族で武蔵・上州を旅行した折、鉢形城址にも立寄って詠んだ漢詩のようだ。

「襟帯山河好 雄視関八州 古城跡空在 一水尚東流」

歌碑は花袋の友人武者小路実篤の揮毫によるものである。意識すると「山河は素敵で関八州が見渡せる。ここ古城跡には空があり、荒川の水は、さらに東へと流れている」という意味であろうか。

そろそろ 12 時、昼食予定の「かんぼの宿寄居」へ向う。

下見のおり、「かんぼの宿寄居」で昼食予約の際、Iさんと宿の責任者の交渉で幕の内弁当、1500円が1200円となる。 ご飯、刺身、天ぷら、焼き魚、茶碗蒸し、お吸い物、デザートで十分満足！！中には中生(ビール)をぐいとあおる叔母さまグループも。



《善導寺》大里郡寄居町末野 1686

浄土宗の寺であり、白狐山悟真院藤田善導寺いい、中世の武蔵七党猪俣党の支流である藤田氏の菩提寺である。

この寺は、永仁 5 年 (1297) に藤田持阿良心上人により創建され、武蔵国における藤田派の中心の寺院として栄えた。

堂内には寛延 6 年には金竜斎宗信の絵画「百人一首画格天井」がある。百人一首の寺として名が高い。

《正龍寺》大里郡寄居町藤田 101-1

曹洞宗の寺で高根山藤源院正龍寺という。正龍寺の創立は、花園城主藤田五郎政行で、高嶺山に菅根権現を祭り壱一寺を創立したと言われる。正龍寺の墓地の中腹の慰霊堂に藤田康邦夫妻と北条氏邦夫妻の墓がある。氏邦の室・大福御前は文禄 2 年 (1593) 正龍寺で死去している。



正龍寺より 300mほど離れた畑地の中に、大福御前自刃の地の碑が建立されている。揮毫

は八王子市長・波多野重雄となっている。八王子市長が揮毫しているのも戦国時代、滝山城、八王子城の主は北条氏重、鉢形城の主は北条氏邦と兄弟の繋がりが有り、現在でも八王子市と寄居町は八高線で繋がり、時代を超えて今でも身近な間柄であるのであろうか。



《蓮光寺》大里郡寄居町大字用土 798-1

武州七福神のうち、大きな福祿寿と布袋尊がある蓮光寺は、また野の花の寺としても知られている。法然上人を宗祖とする浄土宗に属し、京都の知恩院を総本山とし、大谷山藤田院蓮光寺という。



布袋尊は台座を含めて高さ5m、福祿寿は台座を含めて高さが4.4mあるという。

布袋尊は豪快な笑顔、福々しいお姿は些細なことに拘らず、「子孫長久」、「家庭円満」をもたらす神様として知られ、福祿寿は寿老尊と同じともいわれ、南極老人星の化身で「招福（幸福）」、「招祿（財宝）」、「招寿（長寿）」の三つをつかさどる福神である。

旅の最後に福をいただいて帰路に着く。花園 IC 手前の道の駅はなぞので、秩父名産の土産等（深谷名産ねぎ焼酎を買ったが製造元は長野県松本市の酒屋であった？）を買って求め、ソフトクリームで暑さをまぎらわしバスの旅となる。関越道は渋滞していたが、圏央道は順調で、町田着 18 時 30 分頃であった。RV 観光の運転手・S さんお疲れ様でした。

【文責：専務理事】